

# の専用病床を設置

## 平成3年5月に完成

### 診療科目は10科目

### 救急医療も充実

新東陽病院の建設は計画どおり進み、平成3年5月に完成する見通しです。新病院は鉄筋コンクリート造り3階建、延べ建築面積は5,997㎡で、工事費の総額は27億8,903万4千円です。また、診療科目は10科目で、病床数も100床となり、整形外科の専用病床も設置されます。

### 予防から治療リハビリまで一体化

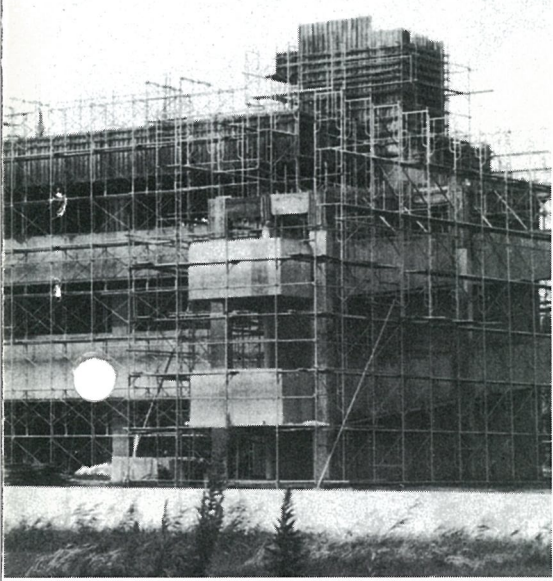
新東陽病院の建設は、計画どおり順調に進み、来年5月に鉄筋コンクリート造り3階建、延べ建築面積5,997㎡の近代的医療施設として完成する見通しです。

また、診療科目も内科・外科・整形外科・脳神経外科・産婦人科・皮膚科・眼科・泌尿器科に加え、新たに耳鼻咽喉科と理学診療科を設置し、10科目となります。病床数も

現在の76床が100床に増え、内科・外科・産婦人科に加え、

整形外科の専用病床が設置されます。

新東陽病院建設に要する事業費は、総額27億8,903万4千円で、完成したあかつきには、地域の皆さんから要望の強かった救急医療体制の充実が図れます。さらに、高齢化社会を迎え、複雑・高度化する医療需要に対応する予防から治療リハビリまで、一体化した病院づくりを目指します。



### 沿革

昭和26年8月

旧、日吉村・東陽村・白浜村・豊栄村の4箇村が共同で国保東陽病院を開設。また、内科・外科・産婦人科の3科で診療を開始する。

昭和29年7月

光町東陽病院と改称する。

昭和30年4月

病院を増築する。

昭和32年8月

病棟を増築する。また、伝染病隔離病舎を三町組合立により新設する。

昭和34年4月

眼科を新設する。

昭和35年4月

皮膚科を新設する。

昭和36年5月

結核病棟を増築する。

昭和39年4月

野栄町・横芝町・光町の三町組合立となり一部事務組合を設立、組合立東陽病院と改称する。

昭和39年11月

診療棟を改築する。

昭和45年10月